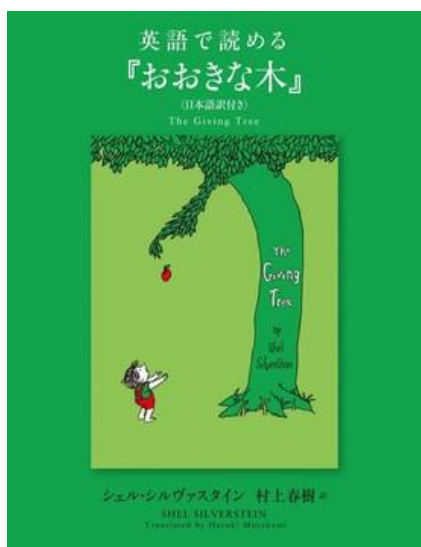


新刊図書案内

R7 年9月

湯之谷中学校図書室

★英語で読める『おおきな木』 シェル・シルヴァスタイン



一本の木と少年の関係性を描いた、シェル・シルヴァスタインの名著『おおきな木』。

成長するにつれ、木への愛情が変わっていく少年と、ずっと変わらず少年に与え続ける木の姿には、読者の年齢に応じて様々な気づきがあることでしょう。

英語表現のニュアンスから今作をより深く理解したり、村上春樹さんならではの訳文の醍醐味を体感したりして、物語をより一層深く掘り下げて楽しんでみてください。

★みんなのミカタ 社会保障制度(全3巻) 河合壘



みなさんは毎日、どんな生活をおくっていますか？

勉強したり、本を読んだり、ゲームをしたり…。

でもなにかのきっかけで、そんな「あたりまえの生活」ができなくなることもあります。

社会全体で、そうなった人を支えたり、そうなったときにできるだけ生活に困らないようにそなえたりすることが大切で、そのしくみが「社会保障制度」なのです。3巻を通して、社会保障のしくみや大切さ、社会保障制度をささえるお金の流れなどを学びます。

★みんなで描こう！黒板アート 学校行事編 すずきらな



「黒板アート」とは、教室の中心にある黒板に、チョークで絵を描いた作品のこと。

入学式や卒業式、文化祭、運動会などで、感謝や労い、応援する気持ちをひとつにする場面で活躍してきました。

チョークの持ち方や線の引き方、混色のしかた、基本的な描き方など、丁寧に解説！

ひとりでも、大人数でも！

描いて笑って感動する「黒板アート」のきらきを詰め込んだ一冊です。



★エコトバ よだかの星

宮沢賢治×三永ワヲ



『よだかの星』は、宮沢賢治の初期に書かれた短編作品です。

姿が醜いせいで周りから嫌われていた「よだか」という鳥が主人公。

弱い者いじめや外見の美醜による差別の否定に加え、権力や食物連鎖など、宮沢賢治が抱えていた問題も描かれています。

イラストレーター・三永ワヲさんの描く物語の世界観にも注目です。

★見てわかる・おぼえる・使える！四字熟語キャラクター図鑑

深谷圭助



いろいろなシーンで使える 68 のユニークな四字熟語キャラが、言葉の意味をわかりやすく解説！ 「四面楚歌」「順風満帆」など、意味がわかればふだんから使えて、しかも国語力のアップに欠かせない四字熟語。

『四字熟語キャラクター図鑑』は、そんな四字熟語のなかから、「ピンチになったとき」「もっと成長するには？」など、現実子どもが出会う場面で使える四字熟語をキャラクターにして、その意味や使い方を解説します。

★見て楽しめる！せかいの国旗

中妻雅彦



月、星、太陽、動物など色も形も様々な国旗をデザイン別に 10 カテゴリーで紹介！

国旗をページ上に大きく掲載、その由来、面白さを知り視野が広がります。

また、その国の文化や世界遺産などもイラストで分かりやすく説明。

「この国についてもっと知りたい！」

と思えるきっかけになる一冊です。

楽しかった夏休みも終わり、いよいよ2学期がスタートしました！ 夏休みは終わりましたが、まだまだ

暑い日が続きそうですね。

学校生活のリズムに戻すのはなかなか大変です。

ひとりにになりたい時や気持ちがのれない時など、図書室に来てみてください。

ぜひリラックスする場所としても利用してくださいね。